

事業番号	08 04 02	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	皆で取り組む園芸振興事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	H17 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	行政・研究・生産・流通・販売団体等が組織横断的に連携し、相互の英知を集約しながら生産振興に係る広域的な課題や重点的な取組方向、消費者からの求評等の各種課題等を設定し協働して進めながら、一体的な体制で生産振興を行い、競争力と収益力の高い園芸産地の育成を目指す。		
現状(予算編成時)	長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業産出額の約70%(1,841億円/県全体2,717億円)を占める主要部門であり、引き続き生産力の維持が重要な課題となっている。特に、園芸作物の生産において、多様な気候条件を有する県土の利点を活用しながら、重要な生産課題を設定しながら構成団体が力を結集して解決につなげ生産力を維持することが重要である。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 園芸振興に効果的な施策を展開し、県民の主体的な参画と協働を促す。 第2期長野県食と農業農村振興計画	
	県民との協働による実施: 実施中		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○果樹: 早期多収・省力化栽培技術研修会及びりんご・ぶどう等県オリジナル品種検討会の開催 5回</li> <li>○花き: 秋期出荷量・品質の向上に向けたモデルほ場の設置 13ヶ所</li> <li>○野菜: 収量性向上モデルほ場の設置23ヶ所</li> <li>○アスパラガス、果菜類等の生産振興研修会 6回</li> </ul>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績		H27
				(当初)	(決算)	(当初)
	早期多収・省力栽培技術の導入及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	りんご新しい化栽培等早期多収・省力化栽培技術の導入推進を図るための研修会及びりんご・ぶどう等県オリジナル品種等生産拡大に向けた検討会の開催ほか(研修会・検討会の開催 5回) 補助先(長野県園芸作物生産振興協議会うまいだもの推進部会)	1,537	1,537	1,412
	新鮮で高品質な花きを安定生産するための生産・流通技術の導入	補助金	カーネーション、トルコギキョウ等の秋期出荷量・品質の向上に向けたモデルほ場の設置ほか(モデルほ場13カ所) 補助先(長野県園芸作物生産振興協議会美しい信州の花推進部会)	563	563	563
	野菜の品質向上及び多品目化等実需者が求める生産の推進	補助金	優良品種選定・収量性向上モデルほ場の設置、アスパラガス、果菜類等の生産振興にむけた研修会ほか(野菜収量性向上モデルほ場23カ所、生産振興研修会6回) 補助先(長野県園芸作物生産振興協議会野菜生産振興部会)	1,130	1,130	1,130
	合計		3,230	3,230	3,105	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		当初予算	3,590	3,230	3,230	3,105			目標	成果	達成状況	
		補正予算										
		合計(A)	3,590	3,230	3,230	3,105						
	Aの財源	一般財源	3,590	3,230	3,230	3,105	果樹早期多収・省力技術研修会・オリジナル品種検討会	5回 160人	5回 180人	5回 203人	達成	5回 200人
		県債					花き秋期出荷量・品質向上技術実証ほ	9か所	13か所	13か所	達成	13か所
		国庫支出金					野菜収量性向上モデルほ	20か所	23か所	23か所	達成	23か所
		その他	0	0	0	0	生産振興研修会	6回 430人	6回 450人	6回 481人	達成	6回 450人
	決算額(B)	3,590	3,230	3,230								
概算職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30								
概算人件費(C)	2,477	2,477	2,477	2,477								
概算事業費(B(A)+C)	6,067	5,707	5,707	5,582								

目標に対する成果の状況	競争力と収益力の高い園芸産地の育成に向けて、目標どおりの取組ができた。特に、研修会等への参加者は、目標をかなり上回った。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	競争力と収益力の高い園芸産地育成に向け、広域的な課題に対し重点的に取り組むなど、今後も現行どおり実施する。